

国史跡

三木城を極める コース

コース 約 2.5km

①②③④⑤⑥⑦ は裏面地図の遺跡番号と対応しています

35分
(見学時間を除く)
所要時間の目安

起点 二の丸跡
(みき歴史資料館)

▼ 2分

1 本丸跡

▼ 10分

2 鷹尾山城跡

▼ 10分

3 宮ノ上要害

▼ 10分

4 雲龍寺

▼ 3分

終点 二の丸跡
(みき歴史資料館)

コース紹介

三木城は東播磨の守護代別所氏の居城で、南側に鷹尾山城、宮ノ上要害などを配置し、三方を崖に囲まれた天然の堅城!! 「三木の干し殺し」で有名な三木合戦の舞台となったお城を巡るコースです。

三木城について

三木城は、東播磨で最大の勢力を誇った別所氏の居城で、上の丸台地上に築かれた丘城です。本丸・二の丸を中心に、新城・鷹尾山城・宮ノ上要害などで構成された各曲輪が並立する構造のお城です。城の北側を流れる美濃川や切り立った崖、南側は山や谷といった自然地形に守られたお城でしたが、天正8年1月、羽柴秀吉による1年10か月におよんだ兵糧攻めに、陥落しました。

本丸跡 (平成25年3月国史跡指定)

上の丸公園として市民に親しまれている本丸跡には、天守台と伝わる盛土やかんかん井戸の遺構が残っています。また、発掘調査によって、礎石や堀跡、瓦や土師器皿など城の遺構や遺物が地下に残っていることが分かっています。

